

# 大人が

## 消防署からの お知らせ

# 子どもを守りましょう

# 夏の水の事故に注意



### 水遊び中の子どもから 目をはなさない

大人や保護者が目を離したスキに事故にあうケースがほとんどです。

危険な場所に行かないよう、日ごろから親子で話をする。

### 子どもの事故防止

夏は海、川、プールなどで子どもが水遊びをする機会が多くなり、水の事故も増えます。子どもの事故は大人や保護者のちょっとした注意で防ぐことができます。ルールを守って楽しい夏を過ごしてください。

子どもを海や川で水遊びさせる場合は、子どもから絶対に目を離さないようにする。プールだからといって、安心して監視をしつかりする。友達と遊んでいたりして、不意に川や池に落ちたりしたら、まず大声を出し、近くにいる大人に知らせるよう日ごろから子どもに教



### 子どもだけで水遊びに行かせない

水の事故は、大人や保護者のいないときに多く起きています。

える。近くの池や防火用水などの防護柵、注意看板などが壊れていたら所有者・管理者に連絡し、早く修理してもらうようにする。

### もし、子どもたちだけで水の事故にあったら・・・

水難事故の際、子どもたちだけで助けようとして、よく二重事故が起こります。どうしたらよいのか、日ごろから次のことをよく教えておくことが大切です。

大きな声で大人を呼ぶこと。周りにだれもない場合、水の中に入って助けようとしてはいけない。自分も引きずり込まれてしまいます。陸上から、身近なものを差し伸べて引き寄せるなどして、泳がないうで助けるようにする。